



一年四組三番 安間 昭太

今回の吉野作造記念館への訪問と見学は二回目となる自分にとって最初はとても退屈なものになってしまふなあと感じていました。しかし、社会経済を学び、理解しつつあるような状態であらためてみると、また違った角度から見ることができ、とても新鮮なものに感じることができました。

見学したものの中で一番印象に残ったことは、吉野作造の人間性です。自分が偉い立場の人間になっても決して気どらず後輩である鈴木文治を素直に先輩後輩の枠を超えてほめ讃えることができるひたむきさや何でも自分が良い事だと思ったらすぐに実行に移そうとするものすごい行動力、そしてこれからのことを自分の体力や健康をかえり

みずに実現できる強い精神力の持ち主であるというような説明を見たり、聞いたりするだけで吉野作造という人間がとても努力家で素晴らしい人であったということがあまり吉野作造を知ってはいない私でも手に取るように浮かびあがってきました。

吉野作造の偉大さを感じて、後輩である私はそれを誇りに思っている、何事もまずはひたむきにやっというかと思うされました。そしてそのひたむきさがいつか花

とても近代的なつくりにおどろかされました。まさに灯台もと暗しだと思いました。展示室の展示品等には本の中の人だった吉野作造が本当に生きた証がたくさんあり、古川出身の人としてもっと吉野作造を身近に感じることができました。

シアターでの吉野作造の生涯をふり返る映画を観て、吉野作造がこれほどまで有名になった理由が分かりました。今でこそ、インターネットが普及し、言論

和な日本があって、そういった人がいるからこそ、これからの日本の未来は明るいのだと思います。そういった人の一人に、僕もなれたらいいと思います。

一年一組五番 上埜 豪

私は正直言ってあまり吉野作造について関心がなく、「宮城県出身の偉い人」という様なイメージがあるだけだった。だが実際に吉野作造記念館に行ってみて、その私のイメージはより

古川高校感想文紹介

吉野作造記念館を訪ねて

2004年2月に6月まで古川高校一年生が来館しました。その感想文を紹介します。

開くことを願っています。

改めて忘れていたことを学ぶことができました。本当に有難うございました。これからの生活には是非役立てていこうと思います。

一年三組十九番 佐々木孝誠

吉野作造記念館を訪ねて、まず僕が思ったのは、こんな立派な施設が身近な所にあったなんておどろきだということ。シアターや展示室が完備された、

の自由が保障されていますが、吉野作造がいきた時代は天皇が絶対的な力を持っていた時代です。そんな時代の中にあっても、自分の理念を曲げずに、民衆にうったえることは本当にすごいことだと思えます。今の時代に比べたら、その難しさは格段に大きいはずだからです。

吉野作造は、僕に自分の考えを持ってそれを貫くことの大切さを教えてくれました。そういった人達がいたからこそ、今の平

具体的に深まっていた。

私は記念館が古川にあることは行く以前から知っていたが、中に入って見学したことはなかった。そのためどんなことを学ぶことができるか、などを頭の中で考えながら記念館へ入った。

記念館では、吉野作造の生きた様子を伝えるビデオ、吉野が実際に使ったものが展示されていた。これらを体験し、私は吉野作造のすごみに気付いた。彼は生涯学問に励み、民衆のために

「民本主義」を唱えて世の中を変えようとしたのである。堂々と自分の意見を曲げないその彼の姿勢は、彼の知識、努力、勇気を象徴しているのではないだろうか。決して一般人にできる行動ではないと私は思う。

今の私ははっきり言って優柔不断だ。他人の意見ばかり気にし、自分が本当に思っていることをはっきり発言することができていない。だが、私は吉野の勇気ある行動に触発されて、自分の意見をはっきり言おうとするようになった。これからは吉野の様に努力、勇気を忘れずに進んでいきたいと思う。そうすればきっと吉野作造の様な素晴らしい人間になることができるはずだと私は思う。

